

2024年(令和6年)10月20日 日曜日

デーリー東北 12面 掲載



【3回戦・工大一・八学光星】PK戦、八学光星は1人目の鳴海龍之介が決める!十和田市高森山総合運動公園多目的グラウンド

野西、光星、三農恵拓4強

全国高校サッカー
青森県大会

第103回全国高校サッカーチャンピオンシップ青森県大会

会第3日は19日、十和田市高森山総合運動公園多目的広場などで3回戦3試合を行った。八学

野西は弘前実に10-0で快勝。三農恵拓は三沢に延長戦、八学光星は工大一にPK戦でそれぞれ

準決勝2試合を行う。青森市カクヒログループアスレチックスタジアムで野西は午後1時半キック

第4日は11月2日、青森市カクヒログループアスレチックスタジアムで野西は午後1時半キック

れ競り勝った。4強の顔オフ。

(桑田友人)

| 八学光星 | △3回戦 | 1 1 1 1 工大一 |
|-----------------------|------------------------|-------------------------|
| 森市カクヒログループアスレチックスタジアム | 0 0 0 0 延長 | 0 0 0 0 0 |
| 三農恵拓 | (PK5-4) | 1 0 0 0 三沢 |
| 森山田一八学光星 | 0 0 0 0 延長 | 0 0 0 0 0 |
| 10時半、三農恵拓一八学 | 1 1 0 0 0 | 1 1 0 0 0 |
| 野西は午後1時半キック | 4 1 0 | 弘前実 |

光星 PK練習、努力実る

○:八学光星はPK戦で5人全員が決め、八戸対決を制した。「皆、自信はあつたと思う」と鳴海龍之介主将は「あの時(眞鳴海)練習でPKに取り組み、高校総体3位決定戦(が頭によぎつたが、なんとか勝てホッとしている」と胸をなで下ろした。

苦しみながら青森山田への挑戦権を得た光星。鳴海は「集大戦が脳裏に浮かんだ。PK戦に成となる試合。悔いなく戦つて持ち込んだが6-1で敗れ、東勝ちたい」と果敢に挑む決意を見せた。

よみがえった敗戦の記憶にも全員が決め、八戸対決を制した。「皆、自信はあつたと思う」と鳴海龍之介主将は「あの時(眞鳴海)練習でPKに取り組み、高校総体3位決定戦(が頭によぎつたが、なんとか勝てホッとしている」と胸をなで下ろした。

努力は実った。4人目が外した工大一に対し、光星は1人目前半にコーナーキックから村の鳴海から5人目の戸田晴道ま上陽斗のヘディングで先制。6で落ち着いてコースに蹴り込んだ後に失点した後は「得点機をだつくれなかつた」。

次第に6月の三農恵拓との一戦権を得た光星。鳴海は「集大戦が脳裏に浮かんだ。PK戦に成となる試合。悔いなく戦つて持ち込んだが6-1で敗れ、東勝ちたい」と果敢に挑む決意を北大会の出場権を逃した。